



◀ブナ林を散策する参加者



白神山地で健康づくり

生活課

J Aあきた白神では、いつまでも健康で元気な生活ができるよう健康増進活動に取り組んでいます。その活動の一環として、10月15日に白神山地岳岱と釣瓶落峠散策会を開催しました。

今年で2回目となる散策会には管内外から約40人が参加し、白神自然アドバイザーの斎藤栄作美氏ら3人がガイド役となり、白神山地のなかでも最大の樹齢400年ブナがある岳岱や釣瓶落峠での紅葉散策をしました。昼食には、女性部藤里支部員から新米きりたんぼ鍋や漬け物などが振る舞われ、たくさんの喜びの声をいただきました。

また、終了後には完歩賞や参加賞が手渡され、参加者からは「天気も景色も良く、ウォーキングを楽しめた。きりたんぼ鍋もとてもおいしく参加して本当に良かった。また来年も参加したい」といった声が聞かれました。



▲おいしい手料理が振る舞われました

来年5月の開所を目指し起工式を開催

J Aあきた白神

来年5月の開所を目指す、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の起工式を10月21日、のしろ北支店の東雲農業倉庫跡地で行いました。この施設は、「入浴」、「排せつ」などの日常生活の介助も行う「特定施設入居者生活介護」の指定を受けて運営することを計画しています。市内のサ高住で特定施設の指定を受けるのは当J Aが初めてです。

起工式には、J A秋田中央会、J A全農あきた、能代厚生医療センター、J A役員、工事関係者ら約50人が出席。神事を行い、工期内完成と工事の安全を願いました。

佐藤組合長は「役職員一丸となって地域に根差し、利用者並びにその家族からも信頼される事業運営を展開して、当施設が福祉介護事業の拠点となるよう、誠心誠意努力をしていく」とあいさつしました。



▲鍬入れをする佐藤組合長



▲出荷規格の確認を行う生産者

収穫・出荷の最盛期を前にねぎ目揃会を開催

ねぎ部会

ねぎ部会（山谷初男部会長）は10月11日、秋冬ねぎの収穫と出荷を目前に控え、出荷規格等を確認する目揃会を開催しました。

生産者やJ A、市場関係者など約40名が参加し、はじめに山谷部会長が「これから秋冬ねぎの収穫のピークを迎える。単価も順調に推移しているので、2年連続販売額10億円達成を目指しこれからの収穫作業に励んでもらいたい」とあいさつ。また、市場からの情勢報告では、「白神ねぎ」は高品質で有利販売しやすい状況であることなどが報告されました。その他に生育状況、出荷規格などの説明がされ、生産者は今後の収穫・出荷に向け理解を深めました。

